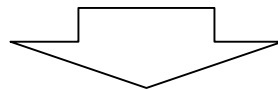


バスICカードを用いたノーマイカーデー設定による 公共交通利用転換事業実証実験の概要

(平成15年7月～平成17年6月)

背景

宮崎県は、自動車の普及率が全国9位、自家用車の使用割合が全国3位であり、公共交通の利用割合は鉄道で約1%、バスで約3%と少なく自家用車中心の社会となっている。その結果、幹線、市街地での交通量の増加、交通渋滞の要因となっている。一方でCO₂の排出量の増加に伴う地球温暖化等への問題も深刻化してきている。そのような中で、地域の自治体等で構成される「マイカーCO₂削減普及促進協議会」においては、ノーマイカーデーを設定して公共交通機関への利用転換を図ることとし、より効果のあるものとするため宮崎交通株が平成14年10月から導入を進めている「非接触型ICカード」と連携した取り組みを検討してきたところである。



実験の概要

月4回ノーマイカーデー(毎週水曜日)を実施する。

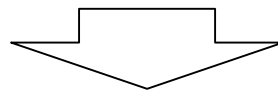
ノーマイカーデーに宮崎交通株のバスICカードを利用して乗車した場合、通常の乗車ポイント(乗車料金の10%)に加えて、更にサービスポイント(乗車運賃の1%)の3倍を付与する。



ポイントに応じてプレゼント進呈

ノーマイカーデーのイベント開催及び新聞折り込みチラシの配布によりPR活動の展開。

ノーマイカーデーを実効性のあるものとするための、地元自治体等との連携施策の実施



実験の途中経過

平成15年度(7ヶ月間)は、実験前に比べて2.0%の増客効果を得た。

平成16年度は、前年度に比べて1.9%と増客効果は得られなかった。

しかしながら、バス輸送全体は前年度に比べて5%であり、減少率は全体と比較しても大きいものではなく、その要因としてノーマイカーデー等の効果が表れているものと考えられる。